

だいせんの偉人先人たち

はん だ ちゅう ぞう
半 田 忠 蔵

【 分 類 】 ^{きょういく}教育

【 生没年 】 1860年 ~ 1899年

(^{あんせい}安政7年) (^{めいじ}明治32年)
^{まん えん がん ねん}万延元年



^{はい はん ち けん}廃藩置県を受け、^{か ろ く ほう かん}明治7年に家禄を奉還した半田家は秋田市の家屋敷を売り払い、かつての知行地で
^{みなみならおかわら}あった南檜岡村に移住。忠蔵は、^{かんがく}幼少期より漢学を学び、^{あきた し ほん がっこう}秋田師範学校を経て^{ぼう だ しょうがっこう こんどう}坊田小学校訓導とし
て赴任。学校には20年間勤め、^{や が く かい}夜学会を広め、^{なんが い せい ねん かい}南外青年会を始めた。また、明治30年に「^{せい せい ぎ}濟々義
^{かい}会」を創設し、多くの人材を世に送った。忠蔵の信念は「^{にんげん ぞん ちやう}人間尊重」に徹しており、漢学、^{ふくざわ ゆ}福沢諭
^{きち}吉「^{せいやう じじやう}西洋事情」「^{がくもん}学問ノススメ」、^{とくとみ そほう}徳富蘇峰の「^{しょうらい にっほん}将来の日本」などから受けた発想をもとに考えら
れたものであった。

出典 『先人の歩み下』1980、大曲市仙北郡校長会／編
社会科副読本わたしたちの大仙市